

全国雪対策連絡協議会の活動

1. 全国雪対策連絡協議会の概要

雪センターには、201の市町村会員がありますが、これらの市町村からなる組織が全国雪対策連絡協議会で、その下に各道県別に13の雪対策協議会があります。

日頃から、会員相互の情報交換・意見交換を行い、情報を共有し、連携・協力して雪対策に取り組んでおります。また各市町村から出された意見や要望を、事務局である雪センターが集約して必要な調整を行った後、会員の総意として全国雪対策連絡協議会の要望書を作成しております。

毎年7月に定期総会を開催しております。ここでは議事に先立ち、国交省幹部から貴重な情報提供を頂いております。議事事項の審議の最後に全国雪対策連絡協議会の要望書が決議されます。この要望書を持って、総会参加者全員による関係機関への要望活動が行われます。こうした活動の成果が予算措置や新たな施策・制度の創設となって現れています。

一昨年度、昨年度の総会は、コロナ禍にあったため、書面による総会となり、また要望活動も、要望書は各道県協議会の御意見を頂いて作成致しましたが、提出は事務局である雪センターが関係機関に提出するという事になってしまいました。本年度は、3年ぶりに、多くの市町村が参加して総会を開催し、要望活動を行う事が出来ました。

2. 令和4年度定期総会の開催

令和4年度の第26回定期総会は、7月13日（水）に砂防会館にて開催され、総会後には要望活動が行われました。総会及び要望活動には、7市町村長を含む22の市町村の参加を頂きました。これらの参加者については、「全国雪対策連絡協議会総会・要望活動参加者」として、添付いたします。

総会では、冒頭来賓として、国土交通省の以下の3名の方々から御挨拶を頂きました

大臣官房 佐藤技術審議官
大臣官房 見坂技術調査課長
総合政策局 公共事業企画調整課
廣瀬事業総括調整官

また、国土交通省の以下の方々から、情報の御提供・御説明を頂きました。

国土政策局 佐藤地方振興課長
水管理・国土保全局砂防部保全課
吉野土砂災害対策室長
道路局環境安全・防災課 寺沢道路防災対策室長
北海道局 米津参事官

当日の配布資料を、「全国雪対策連絡協議会での情報提供資料（資料-1～4）」として、添付いたします。

3. 定期総会の議事の内容

総会の議事では、報告事項、決議事項についての審議が行われました。

(1) 報告事項

全国雪対策連絡協議会の令和3年度事業、令和3年度収支決算についての報告がなされ承されました。

(2) 決議事項

① 令和4年度事業計画、収支予算

全国雪対策連絡協議会の令和4年度事業計画（案）、令和4年度収支予算（案）についての審議がなされ原案通り決定されました。

事業計画については、「全国雪対策連絡協議会 令和4年度事業計画」として、添付いたします。

